

奈良市社会的養護自立支援事業生活相談業務委託に係る公募型プロポーザル 審査項目

審査項目		指標	評価の視点
1. 団体の運営能力	業務理解	企画提案書、説明、質疑応答等	施設等の入所児童・退所児童の状況及び本事業の趣旨について十分に理解しているか。
	信頼性・実績	団体概要書	団体は本事業を実施するために十分なノウハウや実績を有しているか。
	会計管理	決算書、見積書	会計管理は適切であり、安定した事業運営が期待できるか。
	業務遂行力	実施体制調書	担当者の資質・経験、人員配置は適当であり、当該業務に専念できる時間が十分あるか。
	SV・研修体制	企画提案書、説明、質疑応答等	SV体制・担当職員の資質向上に資する研修体制は十分か。
	個人情報の適切な管理		個人情報を適切に管理できる体制がとれているか。
	感染症対策		感染症の感染拡大防止対策ができていないか。感染拡大状況に合わせた柔軟な対応ができるか。
2. 支援内容	衣食住に関する支援	企画提案書、説明、質疑応答等	日常生活において、支援対象者が十分な衣食住を整えることが期待できる支援となっているか。
	就学に向けた支援		支援対象者が就学に対し意欲を高めることや、就学を継続することが期待できる支援となっているか。
	就労に向けた支援		支援対象者が就労に対する意欲を高めることや、就労を継続することが期待できる支援となっているか。
	支援対象者同士の交流の場・居場所づくり		実施体制は適切か。支援対象者が居心地の良さを感じられる工夫がされているか。
	必要な情報の提供		支援対象者の自立に効果的な情報を分かりやすく提示する工夫がされているか。
	関係性の構築		支援対象者との信頼関係を構築し、支援対象者が安心して利用できる工夫がされているか。
	関係機関連携		児童相談所、施設等、市役所の関係課やその他支援機関の役割を理解し、連携して支援に取り組む姿勢を有しているか。
	効果測定		支援の効果について定期的に検証・改善していく体制が取れているか。
	当事者意見		支援対象者の意見を聴き、支援に反映させる仕組みは体制が取れているか。
3. ハード面	設備・環境	図面・設備・場所	支援の実施場所（事務所・相談室等）は、十分な設備・環境が整っているか。
	利便性		支援の実施場所（事務所・相談室等）へのアクセスは、支援対象者にとっての利便性に配慮できているか。
4. 実現性	退所を控えた者に対する支援	企画提案書、説明、質疑応答等	退所を控えた者に対して、自立を見据え準備するために効果的な支援が期待できるか。
	退所後の支援		退所した者に対して、困難を乗り越え、自立生活を維持するために効果的な支援が期待できるか。
	実現性		提案内容は具体性、実現性を有しているか。
	事業経費	見積書・積算内訳	見積額は内容に対して妥当か。積算内訳に偏りはあるか。